

## 環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	1G-2201
研究課題名	省エネ・低環境負荷を実現する次世代船底塗膜ならびに塗工プロセスの開発
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	京都大学
研究代表者名	辻井 敬亘

### 1. 評価結果

評価ランク：A

### 2. 委員の指摘及び提言概要

本研究開発(SRスキン塗膜)は、有害物質の溶出なく海洋生物の付着を防ぐ次世代船底塗膜を開発する新しい試みであり、その革新性は高く評価される。生物付着抑制、流体抵抗低減、自己修復性等が確認され、研究目標は十分に達成されたと判断できる。また、民間企業を巻き込んだ技術実証型の研究として、社会的波及効果が大きく社会実装への期待も非常に高い。一方で、今後の実用化に向けて解決すべき課題も存在している。最重要課題は、摩擦や剥離によって環境に放出された塗膜片の海洋生態系への影響評価である。これに加え、長期的な観点からの耐久性の検証、その結果を踏まえたコスト評価、そしてドック等での作業における実現性の検討が不可欠である。これらの総合的な評価を経て、社会実装へ繋げることを期待する。